

NPO法人 学習塾全国連合協議会

NPO 塾全協

塾全協通信



題字：怜齋（白川亮 進ゼミ柏）

2024年2月、3月合併号

NPO 塾全協

第47回 全国研修大会

日時：2023年11月3日（金・祝）14:30～18:00

場所：アットビジネスセンター池袋駅前別館

テーマ：生徒が輝く英語の授業～学習塾に出来ること

講師：中嶋洋一氏 英語“ワクワク授業”研究所 代表

元関西外国語大学教授・中学教科書 Sunshine English Course(開隆堂)代表著者

(公財)日本英語検定協会派遣講師・(株)リンク・インタラック executive consultant レポーター：中村基和



↑ 山下典男 NPO 塾全協会長



《講演概要》

小学校の英語の授業は以前は担任の先生が行っていたが、専科になってからは中学校の先生が来ている。（小3を教えられない先生が来て小3を教えている。）どこも英語嫌いの生徒が出てきて、中学校にひっぱって行く。では、どうすれば良いのか。

学力を高めるためには指導技術だけではもうやって行けない。「やりたい。知りたい。話したい。」という気持ちをどうそだてるか、ということが必要になってくる。

「個別最適な学び」

今日本の学校ではこれが出来ていない。

Set Your Goal First

finishing the textbook isn't your goal.

even if you finish the text book.

「私たちは、大会、研修日、行事などのゴールから逆算して準備をしています。では、塾以外のことで、ゴールがなければできないことを考えてください。」
(隣同士で話し合わせる)

たとえば料理は最後（何を作るか）が分かっていると出来ない。

学校でも塾でも生徒に時間いっぱいまで作品を書かせ、時間になると集める…。この問題点は何か？

「知識理解」、「思考判断（目的がなければ出来ない）」、「主体的に学習に取り組む態度」が必要。最終的に締め切りを設定するなら、その前に鑑賞する（お互いに見せ合う）時間を撮ることが必要。（お互いに見せ合うことによってハツとして、書き直したりすることがある。）

tell me and I'll forget.

show me and I may remember.

教師が説明すればするほど、生徒は忘れる。

写真やグラフなどを見せれば、生徒は関心を持つ

では、この involve はどういう意味であろうか

「巻き込む」という意味ではない。

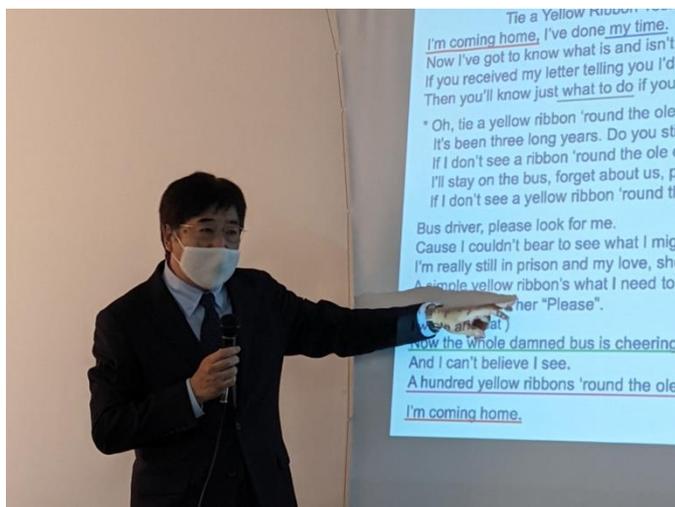
答えは「当事者にする、十分ごとにする」である。

自分事にした瞬間、生徒は learn し始める。では、study と learn の違いはなんだろうか？

study とは自分がかけた時間や努力だけで、実際にできているかどうか分からない。learn は自分の力でできること（理解しているので、自分の言葉で説明ができる）授業の最後の5分間で本当に出来たかどうかを自分で確かめられるような活動を用意してあげなければならない。そうすると生徒は「出来た！」ということになり、それが家庭での学習のプロセスになる。

授業の仕方は「積み木型」と「ジクソーパズル型」がある。英語のテキストの読み方を比べると「積み木型」(Repeat after me)で習った生徒は棒読み、「ジクソーパズル型」（内容を把握してからテキストをちょっと見ながら読む）の方は内容が伝わってくる。

(DAWN (アメリカのボーカルグループ) の Tie a Yellow Ribbon 'round the Ole Oak Tree を流して歌詞の意味を別の英語で説明)



英語で授業をすることは、子どもたちが分かりやすい、イメージしやすい言葉に置き換えてやること、更に具体例で説明してやることで、そうすることによって子どもたちは英語を英語のまま理解することが出来る。私は中2を教えるときには中1の教科書を、中3を教えるときには中2の教科書を音読させた。何故かと言うと、今習っているところを音読させても意味がなく、既に内容を理解していることだからこそ頭に入ってくる。中3に中2の教科書を徹底的に音読させるとどん

どん語順のままに理解してくる。

1分間に150語で読まれる英語を聞き取れないとリスニングテストはダメ。つまり子ども達はその速さで読めなければならない。それを意識して指導していかなければならない。ナチュラルスピードで読む中で、所々に pause を入れることによって子ども達は速さに慣れる。ゆっくり読むのは意味がない。

大学生が「中学校、高校で Repeat after me で習った発音と違

again	alone	mayonnaise
against	lonely	hurt
aurora	really	pizza
sauna	bandage	yogurt
barber	towel	dictionary
beyond	sushi	twentieth

正しい発音で教えないと子どもたちは聞き取れない。教える前に教科書の単語の発音記号を確認しておく必要がある。関西大学で教えていたとき留学した学生たちは皆ぶつぶつ言っていた。「中学校で習った発音が全然通用しなかった。全部 What? What?と言われた。」

英単語は、すべて「音節」でできている。

(The Cascades の The Rhythm of The Rain (悲しき雨音) を使って発音練習)

(最初の歌詞) Listen to the rhythm of the falling rain から

日本人の苦手な l, r は listen, r は rain, th は rhythm, f は falling, v はそのあとの歌詞から vain を使って練習。L と r, f と h, v と b の区別はネイティブの人がいたら唇の部分ビデオに撮ってモニターすれば一発で出来る。ネイティブが来られないなら youtube に沢山ある。

英語は内容語(その単語のみで具体的な意味を持っている単語)は強く長く読まない。すなわち、真石、一般動詞、副詞、形容詞、指示代名詞、疑問詞、not。一方、機能語(文を成立させる、文法的

な機能を果たす語で、それ自体は独立した意味がない語) すなわち、冠詞、前置詞、人称代名詞、be 動詞、助動詞などは軽く短く読む。たとえば

I **think** I can **see** the **difference**. では太字の部分強く読む。

【話す力】即興でやりとりする

塾でもやれる方法 例えば I went to Shinju yesterday, と書いた人に対して 15 秒以内で 3 つ質問を作る。(この場合、キーワードは Shinjuku)

「思考・判断・表現」の観点 問題編

定期試験の問題はこんな風になってきている。

「思考・判断・表現」問題

あなたは、クラスで夏休みの思い出を発表することになりました。次の英文はその原稿の一部です。空らんに適する語を考えて、そこで経験したことを 2 つ加えて英文を完成させましょう。

これは「思考・判断・表現」の問題ではない。問題は、
クラスで夏休みの思い出を発表すること・・・友達にきいているのだから英語にする必要がない。
経験したことを 2 つ加え、I went to () with my friends.・・・went のあとに()があるから夏休み中にどこかに行っことしか言えない。他に答えられない。→これは「思考・判断・表現」の問題ではない。ではどうすれば良いかというと、以下のとおり。

「思考・判断・表現」問題

あなたは、ALT の Jane と夏休みの思い出について話しています。下線にあなただけのことについて書きましょう。一文は 5 語以上とします。

Jane : What did you do in your summer vacation?

あなた: _____.

テスト問題には必然、目的、場面状況が入っていないなければならない。

「即興のやり取り」ができるためには、英語の語順のまま理解できる力をつけること。

There's Christmas tree by the window.

There are some presents under the tree.

Mrs. Brown : This is for you, Judy.

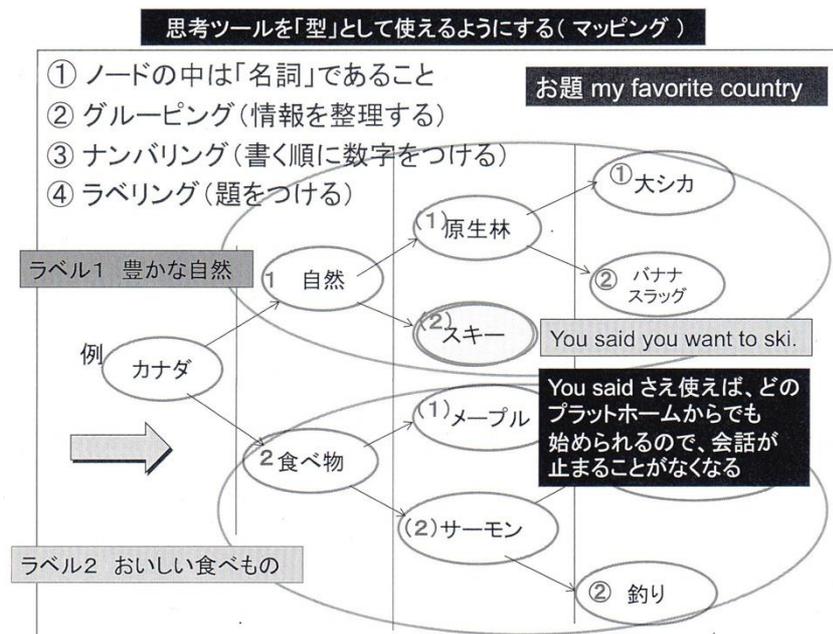
Your grandmother sent it.

(スラスラっと読んで) OK? Repeat after me.→これではダメ。

何が問題なのか？ (参加者に考えて貰う)

答えは、プレゼントの包装紙を開けて中を見なければ **How pretty!** と言えないのだから、その前に 5 秒くらい間を置いてから読むべきである。ただ正しい読み方を教えて居るだけでは読解力が身につかない。場面を理解しなければならない。

PISA 型毒気力で他国と大きな差が出ているフィンランドでは、国家戦略として小学校 1 年の時からマッピングのスキルトレーニングをしている。



(参加者対象にマッピングのワークショップ)

大会宣言

我が国においては、明治維新の頃に初めて大きなグローバル化の波が訪れましたが、現在はIT技術やAIを中心とした第4次産業革命の只中にあり、明治維新の頃とは比較にならないほど大きなグローバル化の波が押し寄せています。また、『生成AI』や『ChatGPT』といった新しい言葉たちが、まるで私たちの現在や未来の生活に幸福を約束する魔法の言葉のように街中に溢れかえっています。

しかし、世界を見渡してみると、イデオロギーや感情の対立などによって、いまだに各地でテロや戦争が起き、多くの方がその犠牲となっている現実があります。科学技術の進歩に伴うグローバル化やAIの力だけでは、必ずしも平和で穏やかな世界が作れるわけではないことは明らかです。

では、今まさにこの時代を担っている私たち大人は、今より少しでも平和で穏やかな世界を子どもたちに残すために、何をなすべきなのでしょう。

『修身齐家治国平天下』という儒教の言葉があります。この言葉は、平和で穏やかな世界を作るためには、先ずは一人ひとりが理性や知性を身につけなければならないということ、約2500年後の現代の私たちに教えてくれています。

幸いなことに、私たち塾人は、この国の将来を担ってゆく子どもたちが、今まさに理性や知性を身につけようとしているその現場に直接立ち会い、その学びを手助けすることを生業としています。

もちろん、私たち個々の力には限界があります。しかし、同じ志を持つ皆さんとともに手を携えて、今日のような研鑽を重ね、それぞれの塾において、目の前にいる生徒を教え育てることに情熱を注いでゆけば、小さな一滴がやがて大河となるように、平和で穏やかな明るい未来を子どもたちに遺すことができるはずで

今こそ私たちは、自らがその礎となる覚悟と決意を新たに、そして今日のこの研修大会がその一つの契機となることを祈念して、大会宣言といたします。

2023年11月3日

NPO 塾全協 第47回全国研修大会
実行委員長 星野勝弘



↑大会宣言を読み上げる星野勝弘実行委員長



↑懇親会にて

オマケ

講演で使われた Tie a Yellow Ribbon 'round the Ole Oak Tree ですが、この曲は DAWN とい米国の男女3人組のグループが1973年に発表し、全米、全英ともに一位を記録しました。歌詞は以下の通りです。刑務所を出所した男が、果たして妻は自分を待っているのか、否もう愛想が尽きているのかと期待と不安が入り交じって帰郷した時の歌です。「自分を待っているなら古い樫の木に黄色いリボンを結んでおいてくれ」との約束が果たされて、喜ぶ男性の心情が歌われています。これはアメリカの口頭伝承の物語を歌にしたものだそうです。

高倉健さんが主演した映画「仕合わせの黄色いハンカチ」は実はこの曲が元になっています。倍賞千恵子さんは、渡辺貞夫氏の家を訪問したとき、親しい彼の娘に、ドーンらの歌「幸せの黄色いリボン」を聴かせてもらい、英語歌詞を日本語に訳して紹介され倍賞さんが感動した事に始まります。山田洋次氏は「男はつらいよ」撮影の合間に、倍賞さんが、歌「幸せの黄色いリボン」を口ずさんでいて、それを聞いて質問して教えてもらったのがきっかけだそうです。

この曲は色々な歌手に歌われています。しばたはつみさんが歌っている日本語バージョンでは I'm comin' home, I've done my time の日本語訳が「俺はムシヨを出た」になっています。do time は刑期を終えると言う意味なんですね。最近では三井不動産のCMにも使われていました。

I'm comin' home, I've done my time
Now I've got to know what is and isn't mine
If you received my letter telling you I'd soon be free
Then you'll know just what to do
If you still want me
If you still want me
Whoa, tie a yellow ribbon 'round the ole oak tree
It's been three long years
Do ya still want me (still want me)
If I don't see a ribbon 'round the ole oak tree
I'll stay on the bus
Forget about us
Put the blame on me
If I don't see a yellow ribbon 'round the ole oak tree
Bus driver, please look for me
'cause I couldn't bear to see what I might see
I'm really still in prison
And my love, she holds the key
A simple yellow ribbon's what I need to set me free
I wrote and told her please



Whoa, tie a yellow ribbon 'round the ole oak tree
It's been three long years
Do ya still want me (still want me)
If I don't see a ribbon 'round the ole oak tree
I'll stay on the bus
Forget about us
Put the blame on me
If I don't see a yellow ribbon 'round the ole oak tree
[Instrumental Interlude]

Now the whole damned bus is cheerin'
And I can't believe I see
A hundred yellow ribbons 'round the ole oak tree
I'm comin' home, mmm, mmm



また、その次に使われたカスケーズの The Rhythm of The Rain (悲しき雨音) は日本でも大変ヒットした曲で、ザ・ヒットパレードでザ・ピーナッツが歌っていたのを覚えています。

以上、アメリカンポップスとブリティッシュロックが大好きな中村の「オマケ」でした。

塾と学校に役立つ関西最大の学習塾向け教材教具展示会

2024年 教材フェア in 関西

日時：2024年1月19日（金） 10:00～15:00

場所：大阪ビジネスパークツイン 21

MID タワー20階

レポーター：村田芳明（大阪 共学館義塾）

写真：寺田圭吾（兵庫 あすなろ学園）

令和6年1月19日（金）に大阪ビジネスパークツイン 21MID タワー20階において「第21回教材フェア in 関西」が開催されました。

この教材展はコロナ禍の影響で2年間中止せざるを得ませんでした。今年も昨年に引き続き、35業者61ブースと多くの出展をいただきました。

そのうち約半数が首都圏からのお申込みで主催者として大変うれしく思っています。

やや曇り空での午前中でしたが、会場前から並ぶ人たちが来られたので午前10時を待たずにオープンしました。入場者数は、コロナ禍前に比べると半数近くになりましたが、それでも200名を超える人数に初めて出店された業者さんからは、喜びのお声をいただきました。

